



羅針盤

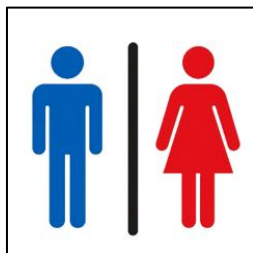
発行:サイクルーズ株式会社
 編集:サイクルーズ株式会社 大森オフィス
 東京都品川区南大井6-26-3
 大森ベルポートD館 8F
 電話: 03-6410-8797
 URL: <https://www.cyclers.co.jp/>

Topics

ピクトグラムの概要と発展

ピクトグラムとは、物や行動の形状を簡潔な図として表現し、言語によらず意味を伝えるための図記号です。英語では「pictogram」と呼ばれ、文字を読まなくても直感的に理解できることが最大の特徴であり、国籍や言語の違いを超えた情報伝達手段として広く利用されています。

ピクトグラムのデザインは、少ない色数と単純化された形状によって構成され、利用者が学習しなくても意味を理解できることを目指しております。例えばトイレを示すマークや非常口のサインなどは、世界中の多くの人々が共通して認識できる代表例です。これらは公共施設や交通機関、商業施設などで日常的に多く利用されています。



トイレマーク

ピクトグラムの歴史は20世紀初頭までさかのぼり、1909年のヨーロッパでは、道路標識を文字ではなく図で表現する試みが始まりました。その後、1949年に国連で道路標識の国際統一に関する提案がなされ、円形は規制や禁止、三角形は注意、四角形は案内や指示といった形による意味の分類が定着しました。これにより、遠方からでも視認しやすく、瞬時に情報を伝える仕組みが構築されました。

日本では長らく道路標識に文字が使われておりましたが、1964年東京オリンピックを契機に大きな転換が訪れました。海外から多数の来訪者を迎えるため、言語に依存しない案内システムが求められ、競技種目や施設案内にピクトグラムが導入されました。この取り組みは世界的に高く評価され、その後のオリンピックや万国博覧会など多くの国際イベントで採用されるようになりました。東京オリンピックは、現代の国際的なピクトグラム活用の出発点として位置付けられています。



水泳・飛込

陸上

バスケットボール

ボクシング

自転車

その後もピクトグラムは進化を続け、日本では2002年に一般案内用図記号125項目がJIS規格として整備されました。今日では駅や空港、病院、観光施設などで統一的な表示が行われ、利用者の利便性向上に貢献しております。特に非常口マークは日本で開発されたデザインが国際標準となり、世界各国で使用されている代表的な成功例です。また、障害者向け設備を示す国際シンボルマーク(車椅子マーク)や禁煙マークなども、国際的に広く認知されたピクトグラムとなっています。

近年では2021年に開催された東京オリンピック開会式で、競技ピクトグラムを人力で再現するパフォーマンスが話題となり、日本国内で改めて注目を集めました。一方で、2024年パリオリンピックでは紋章をモチーフとしたデザインが採用されるなど、従来の「分かりやすさ」だけでなく、芸術性やブランド表現を重視する方向性もみられています。出典:wikipedia ピクトグラム



非常口マーク

Series

前進あるのみ！(2)



サイクルーズ取締役、トライシクル代表
 山田 晃一

ご無沙汰しております。隔月連載、私の「羅針盤」第二回です。第一回を見逃した方は、ぜひ下記をご参照ください。

<https://www.tokometal.co.jp/rashinban/media/197.pdf>

ところで、この「羅針盤」については、想像以上に多くの方にご覧いただいていることが分かりました。社内外を問わず、「前回の記事、面白かったですよ」とお声掛けいただくこともあり、大変嬉しく思っています。こうして発信を続けることで、自分自身や考え方を知って戴けるのは有難いことだと感じています。この連載では、せっかくなので私自身の「羅針盤」、即ち人生や仕事で大切にしている考え方をお伝えしたいと思います。今回のテーマは「レジリエンス高く生きること」です。レジリエンスとは、困難やストレスに直面した際の耐性や回復力を指します。私がレジリエンスの大切さを強く意識したのは、前職時代に駐在していたインドでした。先日の9月の連休には、2年ぶりにインドを訪れましたが、改めて感じたのはその圧倒的な活気です。「人口は力である」と言われますが、15億人の一人ひとりのエネルギーや挑戦する意欲が、社会全体の成長を支えているように感じます。

私は2017年頃からインド出張を続け、2019年に社内で投資提案を行いました。「投資するなら出向せよ」と言われ、約400人のインド人が働く会社へ日本人一人で赴任することになりました。そこで約4年間の生活で、インド人からよく聞いた言葉が「Jugaad (ジュガード)」です。Jugaadとは、「限られた資源の中で創意工夫により問題を解決すること」を意味するヒンディー語です。

簡単に言えば、「足りなければ、あるもので何とかする」という考え方です。もちろん良い面も悪い面もありますが、資金や設備、人材が不足していても、既存のものを組み合わせる前に進む姿勢は非常に印象的でした。完璧を目指すより、まず動く。この考え方こそが、彼らの強いレジリエンスにつながっているのだと思います。Jugaadにはいくつかの原則があるとされています。今回の旅行中に思い出したので、最後にご紹介します。日本人が苦手とする部分もあるかもしれませんが、レジリエンスを高めるヒントになるはずです。

①逆境に機会を見出す ②少ない資源で成果を出す ③柔軟に考え行動する④シンプルにする(高度な技術より使いやすさを重視する)⑤周辺層を取り込む(未開拓市場や中小顧客にも着目する)⑥心に従う(社会課題の解決を事業の原動力とする)。

今回、この原稿を書くにあたり改めてJugaadを振り返ってみると、特に②の「少ない資源で成果を出す」という考え方は、島国で資源の多くを海外に依存する日本において、資源リサイクル事業を営む私たちグループにとって非常に重要な発想だと感じました。インドで学んだ考え方が、巡り巡って今の仕事にもつながっていることに気付かされ、今回の第二回を締めくくりたいと思います。



2020年コロナ禍の
 インドでのマネジメント会議
 (コロナなんのその活気がありました)



今年9月のインド旅行で久々の再会

Cyclers Topics !

自転車競技チーム「Team Cyclers SNEL」 episode1

こんにちはTeamCyclersSNELです。今回からTeamの各選手が持ち回りで自転車競技に関しての記事を連載して参ります。第一回目は私、東港金属大森オフィス配属の玉城が担当です。簡単にTeamCyclersSNELを紹介致します。我々はJプロツアーシリーズを主戦場に活動している自転車競技の実業団チームですが、国内唯一のデュアルキャリア型チームです。選手は半日練習、半日業務の生活スタイルで日々活動しております。この連載を通して、半日練習の中で選手はどのようなトレーニングを行っているのか?どんな自転車に乗っているのか? 普段の消費カロリーは3000kcalを超えている! など様々なトピックスを発信して参ります。羅針盤を通して我々の活動を発信致しますので、業務の気分転換に覗いていただければ幸いです。

